月刊
かわぐち心臓呼吸器病院
ハートチーム通信
2026 11
Vol.51



Topics ～循環器診療に役立つ、最新の話題～

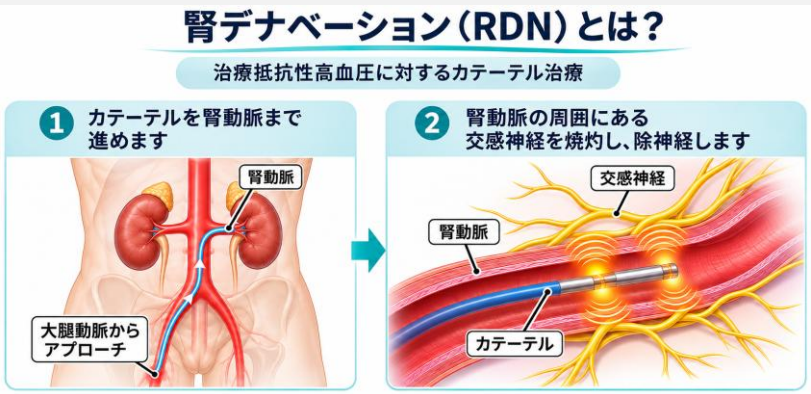
「治療抵抗性高血圧外来」を開設します
― 腎デナベーション（RDN）治療の導入 ―

腎デナベーション（Renal Denervation：RDN）は、カテーテルを用いて腎動脈周囲の交感神経（求心性・遠心性神経線維）を焼灼し、血圧を低下させる治療法です。本邦では2026年3月から保険診療が可能となり、治療抵抗性高血圧に対する追加的治療として位置づけられています。偽手技対照試験で降圧効果が示されていますが、RDN自体による心血管イベント抑制効果は今後の検証が必要です。

収縮期血圧10 mmHgの低下により、主要心血管イベントが約20%、全死亡が約13%減少することが、降圧治療のメタ解析で報告されており(1)、**日本高血圧学会ガイドラインでは、降圧目標は診察室血圧130/80 mmHg未満、家庭血圧125/75 mmHg未満とされています。**なお、治療抵抗性高血圧とは、利尿薬を含む異なる3系統以上の降圧薬を適切に使用しても降圧目標に達しない状態を指し、RDNの適応はさらに診察室・診察室外血圧などの基準が設けられています。

このたび当院では、RDNの導入に合わせて「治療抵抗性高血圧外来」を開設します。本外来ではRDNのみを目的とするのではなく、二次性高血圧精査、服薬アドヒアランス不良を評価し、薬物療法の最適化も含めた包括的な血圧管理を行います。24時間自由行動下血圧測定（ABPM）も導入予定です。複数の降圧薬を使用しても血圧が高い患者様は、ぜひご紹介ください。

(1) Lancet. 2016 Mar 5;387(10022):957-967.





文責
徳山 榮男

各部署からのお知らせ　ーリハビリテーション科ー



リハビリテーション科は理学療法士10名が在籍しており、心大血管疾患や呼吸器疾患に対する専門的なリハビリテーションを行っています。急性期の段階から他職種と連携して離床を進め、患者様の早期社会復帰と生活の質の向上を支援しています。退院後も、外来リハビリテーションでフォローアップを行っています。また言語聴覚士も1名在籍しており、長期人工呼吸管理や加齢による嚥下機能障害のある患者様に対して、安全な栄養摂取と、尊厳ある「食べる喜び」の回復を目指して摂食機能療法を行っています。

過去のハートチーム通信はこちら →